

竹岡地区交通空白地有償運送の現状について

「竹岡地区交通空白地有償運送」とは、平成 31 年 4 月から「自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）」の登録を受け NPO 法人わだちが運行している。竹岡地区の公共交通のない地区を巡回し、天羽地区内の商店やスーパー、医療機関などを経由する。

○令和 2 年度（R2.4～R3.3）収支決算

令和 2 年度収支決算

収入	会費	59,000 円	59 件（115 人）×1,000 円
	運賃収入	142,100 円	235 人×500 円、82 人×300 円
	市補助金	1,129,601 円	富津市移動手段確保等支援事業補助金
	国補助金	1,679,000 円	地域公共交通確保維持改善事業費補助金
	計	3,009,701 円	
支出	人件費	1,424,715 円	運転手、事務員
	保険料	245,120 円	自動車保険
	通信費	137,772 円	携帯電話
	燃料費	249,676 円	ガソリン代
	修繕費	90,602 円	車両修繕費
	賃借費	605,232 円	自動車リース代
	工事費	62,000 円	駐車場整備費
	その他	315,504 円	広告制作費、事務費等
	計	3,130,621 円	
収支		△120,920 円	

令和 2 年度事業は、10 月のダイヤ改正で週 3 日から週 2 日に運行回数が変わったこともあり、事業初年であった前年度と比べて約 15% 支出額が減少（前年 3,680,627 円）した。

また、本事業は、生活交通確保維持改善計画として認定を受け、国の補助金対象となっており、補助要件の一つである「1 運行あたり 2 人以上」の人数要件は満たしていないものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和 2 年度以降当分の間はこの基準は適用しないこととされたことから、国補助金の交付を受けている。

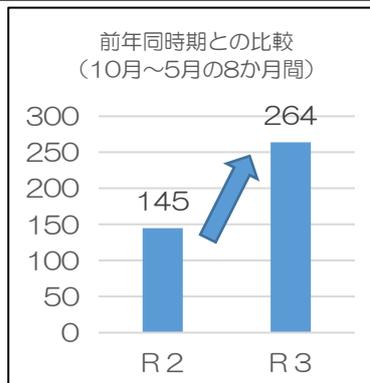
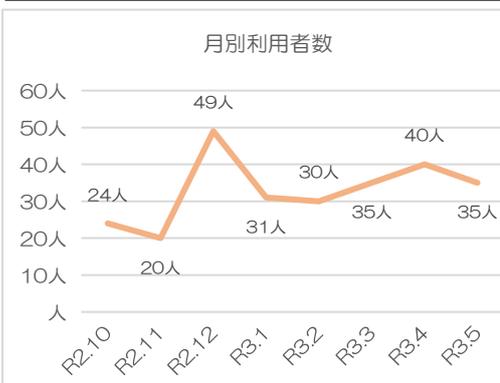
なお、令和 3 年度においても、同様の措置がとられるため補助見込みとなっている。

○最近の利用状況（令和 2 年 10 月から令和 3 年 5 月末まで）

利用者数：264 人（1 運行あたりの利用者数 1.34 人）

運行状況：定時定路線型 週 2 日運行（火・金曜）、1 日 3.5 便（※うち予約 0.5 便）

運行日数：64 日（計画日数 65 日） 運行便数：197 便（計画便数 227.5 便）



令和 2 年 10 月に実施した運行計画変更以降の利用者数は、

- ・前年の同時期（10～5 月）と比べて **約 82% 増加**。1 運行あたりの利用者数は **約 0.45 人から約 1.34 人に増加**
- ・これまで利用の少なかった湊地区の利用者が増加

○今後の展開について

令和 2 年 10 月のダイヤ改正以降、順調に利用者が増えている。今後は、利用者向けにアンケート調査を実施し、結果を基に運行ダイヤに微修正を加えつつ、利用者の定着及び新規開拓を目指し、目標である「1 運行あたり 2 人」の基準をクリアしてまいりたい。